

スマートシティカレンダー（株式会社ジョルテ）

テーマ

②認知度向上・地域への参画促進

解決を目指す西新宿の課題

西新宿エリア全体での統一的な情報の発信

2-3年後に目指す姿

- いろんなサイトやアプリで情報を探すのではなく、生活の中にあるカレンダーで欲しい情報が自然と見つけれられる。
- 各店舗が、効率的に情報を必要な人に届けられる。来訪者のめにつきづらい店舗でも、効率的に集客できる。
- 商店街、店舗、住民、来訪者がカレンダーベースで統一的に情報を共有でき、西新宿に来るとその時に何ができるのかが直感的に分かる。

プロジェクト参加者・役割

- 株式会社ジョルテ（プロジェクトリーダー）
スマートシティカレンダーの企画、開発、推進、地域での実証
- ソニーマーケティング株式会社
テレビ環境での利活用に伴うプランニング、実証実験サポート

※ 事業拡大に応じて、他企業を巻き込む

施策概要

- 商店街や地域コミュニティの情報、観光客向けの情報など、統一的にカレンダーで集約し情報を届ける仕組みを提供する。
- 西新宿エリアで行われる各種イベント情報を収集する。主要イベントだけでなく、店舗等での小さなイベント、トピック、開店時間や混在状況など、西新宿における情報収集スキームの構築に向けた取り組みを行う。
- カレンダーアプリだけでなく、スマホWEBや他アプリへの情報提供・連携も実施。さらに、人が集まる場所に大型テレビを設置してカレンダーを表示し、西新宿で今できることを直感的に伝えられるようにする。

3か年計画

- | | |
|-----|---|
| 1年目 | ■ 西新宿エリアでの情報収集スキームの構築とカレンダー型情報発信の仕組みを提供。 |
| 2年目 | ■ 西新宿エリア全体で情報が統一的に発信でき、エリア内での効率的な集客や、人の回遊を実現。 |
| 3年目 | ■ 西新宿エリアの以外にも拡大させ、エリアをまたいだ統一的な情報発信、共有プラットフォームにし、エリア間の人の回遊を実現。 |

想定KPI

- 継続的な利用が見込まれるコミュニティや施設 3箇所
- 実証実験によるユーザ調査で、継続的な利用意思ユーザの割合30%

※上記のフレームの大きさは自由に変更してください。（記載項目の項目名変更や追加は不可）

※フォントサイズは12pt以上でご記入ください（A4サイズ）

「スマートシティカレンダー」 カレンダー型の地域情報共有プラットフォーム

日常的に使うカレンダーに、地域の情報やサービスをデジタル化して集約し、時間軸と属性（場所、生活・行動、興味など）で人・情報・サービスをつなげ、利便性の向上と地域・サービスの活性化につなげる。

スマートシティカレンダーの例



各種情報やサービスをデジタル化してつなげる。

- ・飲食店の営業時間、混雑状況、お得情報など
- ・自分、家族、仕事の予定
- ・天気予報、気象情報
- ・移動、交通情報、MaaS
- ・自治体イベント、お知らせ ※ **オープンデータ活用**
- ・緊急事態宣言、防災・災害情報など
- ・学校、サークル、習い事等コミュニティ
- ・病院、美容院などの予約
- ・ヘルパー、訪問介護の訪問日程
- ・商業施設、商店街イベント、お知らせ
- ・スポーツ、コンサートの日程
- ・観光イベント、施設利用時間
- ・ホテル、宿泊予約、体験イベント予約
- ・他各種イベント情報、DX化サービスのハブ化

カレンダーでの見せ方だけでなく、簡単に情報をデジタル化し配信するツールや、簡易的な予約システム、各種サービス接続・連携の仕組みを提供する。ビッグデータ解析、AI活用により表示を最適化。

カレンダーに集約して活用



スマホ、テレビ、AIスピーカー等

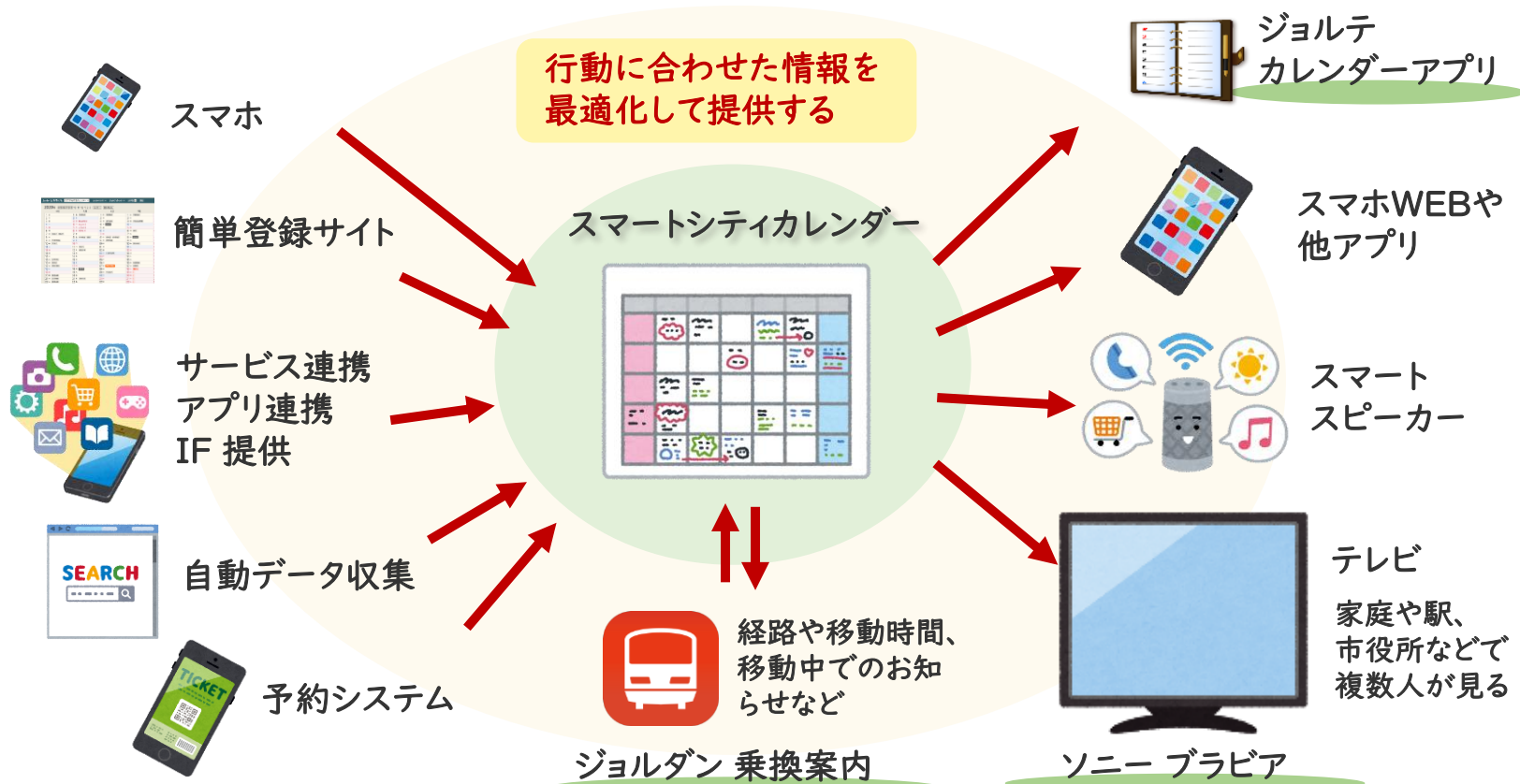
ポイント

- ・カレンダーは「ジョルテ」アプリに**限定せず**、他アプリやサービスにも提供・組込できる仕組みに。**スマホだけではなく、大型テレビやAIスピーカー**などのデバイスにも対応し、誰でも使える環境にする。
- ・個人に合った**最適な情報配信**や**利便性**の提供により、新たな行動を作り出し、**地域の活性化**や**各種サービス利用の促進**につなげる。
- ・旅行のホテル、移動のチケット、体験イベント予約、飲食店への誘導といった、**複数のサービスをカレンダーでつなげ**、利用促進に。

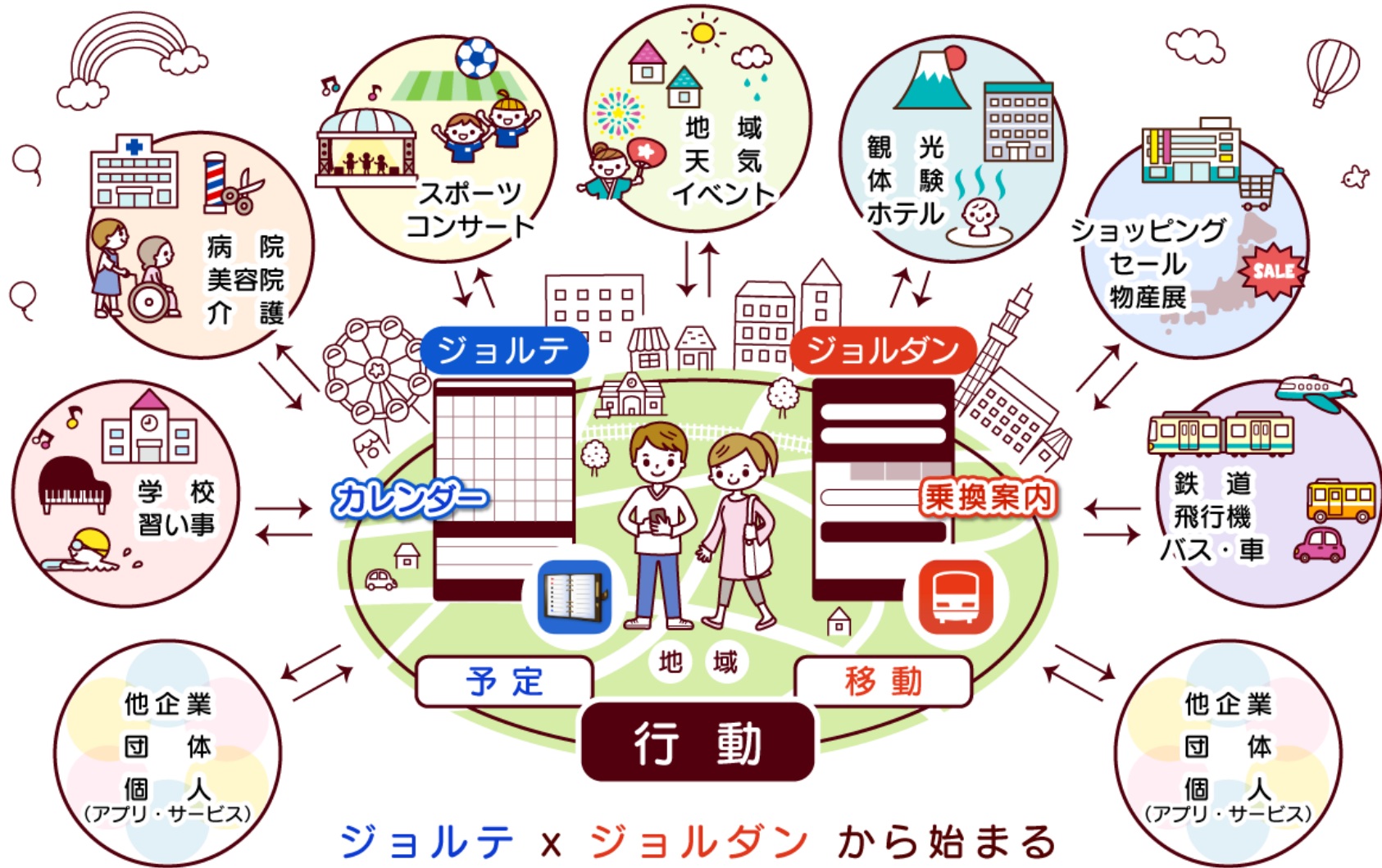
日常的に予定を確認する(カレンダーや手帳を見る)タイミングで、自分に関連する情報やサービスを活用する環境を提供する。自分の予定や行動をもとに(ビッグデータ解析、AI活用)、その人にとって重要な情報の表示やサービス導線を提供する。

スマートシティカレンダー 構成・サービス連携

地域の情報やサービスを集約し、その人の行動に合わせて最適な情報を届ける。
利便性の向上と同時に「**できることに気付く**」ことで毎日に変化をもたらす。
例) 学校の行事予定表を見るときの近くの商店街のイベントを知ったり、歯医者に行くための電車の時間を調べるタイミングで途中のパン屋の焼き上がり時間を知るなど。
飲食店の営業時間や混雑状況の確認や、効率的な店舗誘導につながるお知らせなど。



参考：ジョルテ+ジョルダン「行動中心」統合型プラットフォーム構想「**ジョルジョル**」



ジョルテ x ジョルダン から始まる
新たな「行動中心」の統合型オープン・プラットフォーム
行動でつながるサービスは衝撃の未来をつくる